



熊本市立田迎西小学校『学校だより』

Happiness

令和6(2024)年7月19日(金) No.3 発行: 校長 藤本 良二



1 学期を終えて

1学期が終了しました。保護者の皆様、地域の皆様の力を借りることで何とか終えることができました。運動会等、行事等へのご協力も本当にありがとうございました。

終業式では、始業式と同じく「なりたい自分」を目指して、しっかりとした願いや目標をもって夏休みを過ごしてほしいと話しました。夏休みだからできることがたくさんあると思います。勉強に関すること、お手伝いに関すること、運動や特技に関すること等、いろんな内容から目標を定め、一人一人が自分で自分を成長させていってほしいと思います。成長した子どもたちと始業式で会えることを楽しみにしています。

また、夏休みは子どもたちにとって楽しい期間ですが、いろんな危険や誘惑にさらされる期間でもあります。夏休み前に学校でも指導はしていますが、子どもたちが安全に過ごせますよう、ご家庭でも配慮をお願いします。

水泳指導を通して

熊本市は、水泳の授業時は、担任+もう一人の監視役が必要です。その関係で、私は全学年の水泳授業を参観する機会があり、また子どもたちを追跡してみることができました。そこで改めて気が付いたことは、「やってみようとする意欲」と「教えてもらったことを受け入れる素直さ」の重要性です。先生に教えてもらったことを素直に受け入れ、そこに気を付けて練習を続けた子どもは短期間で大きく泳力を伸ばしていきました。こうやって力を伸ばしていくことは、運動だけではなく、学習や仕事等にも同じことが言えます。これは、私が出会ってきた子どもたちだけでなく、若い先生方にもあてはまることです。

プロ野球の元コーチに、高畠 導宏(たかばたけ みちひろ)さんという方がいます。7つの球団で、30人以上のタイトルホルダーを育てた伝説の打撃コーチといわれています。その方は、「伸びる人の共通点」として、次の7つを挙げています。①素直であること。②好奇心旺盛であること。③忍耐力があり、あきらめないこと。④準備を怠らないこと。⑤几帳面であること。⑥心配りができること。⑦夢をもち、目標を高く設定ができること。

どの世界でも、同じことが言えそうです。

最後に、3年生の最後のプールの時間を参観した時に出会った素敵な作文を紹介します。

ぼくは、3年生でけのびとバタ足ができるようになりました。最初はこわくてできなかったけど、父さんと練習をしてできるようになりました。今、一番好きな体育はプールです。先生たちが、「がんばれ。もう少し。」と声をかけてくれてとてもうれしかったです。4年生になっても、上の段階にいけるようにがんばります。プールをやっていると、できない泳ぎもできるようになります。ぼくもそうやって2つの泳ぎができるようになりました。教えてくださった先生、ありがとうございました。

できるようになりたいという意欲をもって、学校外でも親子で頑張ったことが伝わってきます。その気持ちにこたえるように、寄り添って指導した先生の姿も見えてきます。